

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークⅢ (4 単位)	3. 科目番号	SNMP3357
2. 授業担当教員	姜 壽男		SCMP3357
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>ソーシャルワークⅢは、ソーシャルワークⅠ・ソーシャルワークⅡで学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理、ソーシャルワークプロセスと付随する専門技術等を前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、多様な課題と支援の必要性を持つ現代社会のクライアントに、より専門的に対応、その課題等の解消と軽減に向け働きかけることのできる知識・技術としての実践理論・アプローチについて学習する。加えて、グループを用いた支援、あらゆる場面で必要とされるコーディネーションとネットワーキング、関連する社会資源の調整と開発など、クライアントへの直接的・間接的相談援助技術について総合的・包括的に学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。</p>		
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ソーシャルワークの定義と「相談援助」の対象について再確認する。 2. ケスマネジメント（ケアマネジメント）についてその概要を理解する 3. グループを活用した支援について理解する。 4. コーディネーションとネットワーキング、社会資源の調整・開発について理解する。 5. ソーシャルワーク実践モデルとアプローチの概要と実践方法について理解する。 6. スーパービジョンについて理解する。 7. ケースカンファレンスについて理解する。 8. 実践事例を通じて、相談援助に必要な専門知識・技術について横断的に活用ができる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>・学習の理解度をみる課題を授業内で複数回行う。 *その他授業の進行状況に応じて指示します。</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会 『相談援助の理論と方法Ⅱ（新・社会福祉士養成講座8）』第3版、中央法規、2015年。</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準 ・8つの目標を達成することができたか。</p> <p>○評定の方法 (1) 平常点（授業態度・発表・発言・学習課題など）20%、 (2) 課題レポート 30% (3) 試験 50%</p> <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>・個人、家族、小集団・組織、地域社会をクライアント・システムとしてとらえ、対象がどのような場合でも、基本的なソーシャルワーク過程の応用であることを意識しながら実践力を身につける。</p> <p>・本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。</p> <p>受講生は上記の目的達成のため、下記の事を守ることが期待されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業中は常に緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加すること。 2) 席は前から男女混合で座ること。 3) 授業中に理解できなかったことをそのまま放っておかず、質問をすること。 4) 授業中は私語、居眠り、また途中入出をしないこと（正当な理由以外は減点の対象になる）。 5) 宿題及びレポートの提出期間を厳守すること。 6) グループ討議にはメンバー全員が積極的に参加することと他人が発表するときはきちんと傾聴すること 7) 授業の進捗状況・理解度にあわせ、内容や順番等を変更する場合もある。 		
13. オフィスアワー	授業中に通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	◆オリエンテーション 授業の内容と進め方について	事前学習	教科書の「はじめに」を読み、学習内容の全体的なイメージをつかんでおく
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる
第2回	◆相談援助における対象の理解 ・社会福祉援助活動の概念と定義 ・相談援助の対象をどうとらえるか ・新たなソーシャルワークの展開	事前学習	教科書 pp2~25 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	・社会福祉援助活動の概念と定義及び新たなソーシャルワークの展開についてまとめる
第3回	◆ケスマネジメント(ケアマネジメント)① ・ケスマネジメントの基本 ・ケスマネジメントの過程	事前学習	教科書 pp28~58 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	ケスマネジメントの基本、過程についてまとめる
第4回	◆ケスマネジメント(ケアマネジメント)② ・ケスマネジメントにおけるアセスメントの特徴	事前学習	教科書 pp28~58 を熟読し、説明出来るようにしておく

	・ケアプランの作成・実施の特徴	事後学習	ケースマネジメントにおけるアセスメントの特徴、ケアプランの作成・実施の特徴についてまとめる
第5回	◆ケースマネジメント(ケアマネジメント)③ ・ケースマネジメントの特徴 ・ケースマネジメントとソーシャルワークの関係	事前学習	教科書 pp28~58 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	ケースマネジメントとソーシャルワークの関係についてまとめる
第6回	◆グループを活用した相談援助 ・グループを活用した相談援助 ・自助グループを活用した相談援助	事前学習	教科書 pp60~80 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	グループ、自助グループを活用した相談援助についてまとめる
第7回	◆コーディネーションとネットワーク① ・コーディネーションの目的と意義 ・コーディネーションの方法・技術・留意点 ・ネットワークの意義と目的	事前学習	教科書 pp82~104 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	コーディネーションの目的と意義についてまとめる
第8回	◆コーディネーションとネットワーク② ・ネットワークの方法 ・地域福祉を推進するための総合的なネットワークの形成とシステム化	事前学習	教科書 pp82~104 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	ネットワークの方法、地域福祉を推進するための総合的なネットワークの形成とシステム化についてまとめる
第9回	◆相談援助における社会資源の活用・調整・開発① ・社会資源の活用・調整・開発の意義と目的 ・社会資源の活用・調整・開発の方法と留意点①	事前学習	教科書 pp106~126 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	社会資源の活用・調整・開発の意義と目的についてまとめる
第10回	◆相談援助における社会資源の活用・調整・開発② ・社会資源の活用・調整・開発の方法と留意点② ・ソーシャルアクションによるシステムづくり	事前学習	教科書 pp106~126 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	社会資源の活用・調整・開発の方法と留意点、ソーシャルアクションによるシステムづくりについてまとめる
第11回	◆さまざまな実践モデルとアプローチⅠ① ・実践モデルとその意味 ・治療モデル、生活モデル・ストレングスモデル①	事前学習	教科書 pp128~148 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	実践モデルとその意味についてまとめる
第12回	◆さまざまな実践モデルとアプローチⅠ② ・治療モデル、生活モデル、ストレングスモデル② ・ジェネラリスト・ソーシャルワークの展開と実践モデル	事前学習	教科書 pp128~148 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	治療モデル、生活モデル、ストレングスモデル、ジェネラリスト・ソーシャルワークの展開と実践モデルについてまとめる
第13回	◆さまざまな実践モデルとアプローチⅡ① ・心理社会アプローチ ・機能的アプローチ ・問題解決アプローチ ・課題中心アプローチ	事前学習	教科書 pp150~171 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	心理社会アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチ、課題中心アプローチについてまとめる
第14回	◆さまざまな実践モデルとアプローチⅡ② ・危機介入アプローチ ・行動変容アプローチ ・事例考察によるアプローチ理解	事前学習	教科書 pp150~171 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	危機介入アプローチ、行動変容アプローチ、事例考察によるアプローチ理解についてまとめる。
第15回	◆さまざまな実践モデルとアプローチⅢ① ・エンパワメントアプローチ ・ナラティブアプローチ ・認知アプローチ	事前学習	教科書 pp174~197 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	エンパワメント、ナラティブ、認知アプローチについてまとめる
第16回	◆さまざまな実践モデルとアプローチⅢ② ・その他のアプローチ ・事例考察によるアプローチ理解 ・アプローチをめぐる課題	事前学習	教科書 pp174~197 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	事例考察によるアプローチ理解、アプローチをめぐる課題についてまとめる
第17回	◆スーパービジョンとコンサルテーション ・スーパービジョンの意義と目的 ・スーパービジョンの方法と留意点 ・コンサルテーション	事前学習	教科書 pp200~213 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	スーパービジョンの意義と目的・方法と留意点、コンサルテーションについてまとめる。
第18回	◆ケースカンファレンスの技術① ・ケースカンファレンスの意義と目的 ・ケースカンファレンスの方法と留意点	事前学習	教科書 pp216~239 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	ケースカンファレンスの意義と目的、方法と留意点についてまとめる
第19回	◆ケースカンファレンスの技術② ・ケースカンファレンスの実際 ・ケースカンファレンスの評価と普遍化	事前学習	教科書 pp216~239 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	ケースカンファレンスの実際、方法と留意点に

			ついてまとめる
第20回	◆相談援助における個人情報の保護	事前学習	教科書 pp242~252 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	相談援助における個人情報の保護についてまとめる
第21回	◆相談援助における情報通信技術(ICT)の活用	事前学習	教科書 pp254~265 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	相談援助における情報通信技術(ICT)の活用についてまとめる
第22回	◆事例研究・事例分析① ・事例研究の目的と意義 ・事例研究の方法と留意点	事前学習	教科書 pp268~283 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	事例研究の目的と意義、方法と留意点についてまとめる
第23回	◆事例研究・事例分析② ・事例分析の目的と意義 ・事例分析の方法と留意点	事前学習	教科書 pp284~291 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	事例分析の目的と意義、方法と留意点についてまとめる
第24回	◆相談援助の実際① ・事例1	事前学習	教科書 pp294~296 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	事例1についてまとめる
第25回	◆相談援助の実際② ・事例2	事前学習	教科書 pp297~299 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	事例2についてまとめる。
第26回	◆相談援助の実際③ ・事例3	事前学習	教科書 pp300~302 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	事例3についてまとめる。
第27回	◆相談援助の実際④ ・事例4	事前学習	教科書 pp303~305 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	事例4についてまとめる。
第28回	◆相談援助の実際⑤ ・事例5	事前学習	教科書 pp306~308 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	事例5についてまとめる。
第29回	◆相談援助の実際⑥ ・事例6	事前学習	教科書 pp309~312 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	事例6についてまとめる。
第30回	◆相談援助の実際⑦ ・事例7	事前学習	教科書 pp313~315 を熟読し、説明出来るようにしておく
		事後学習	事例7についてまとめる。
期末試験			